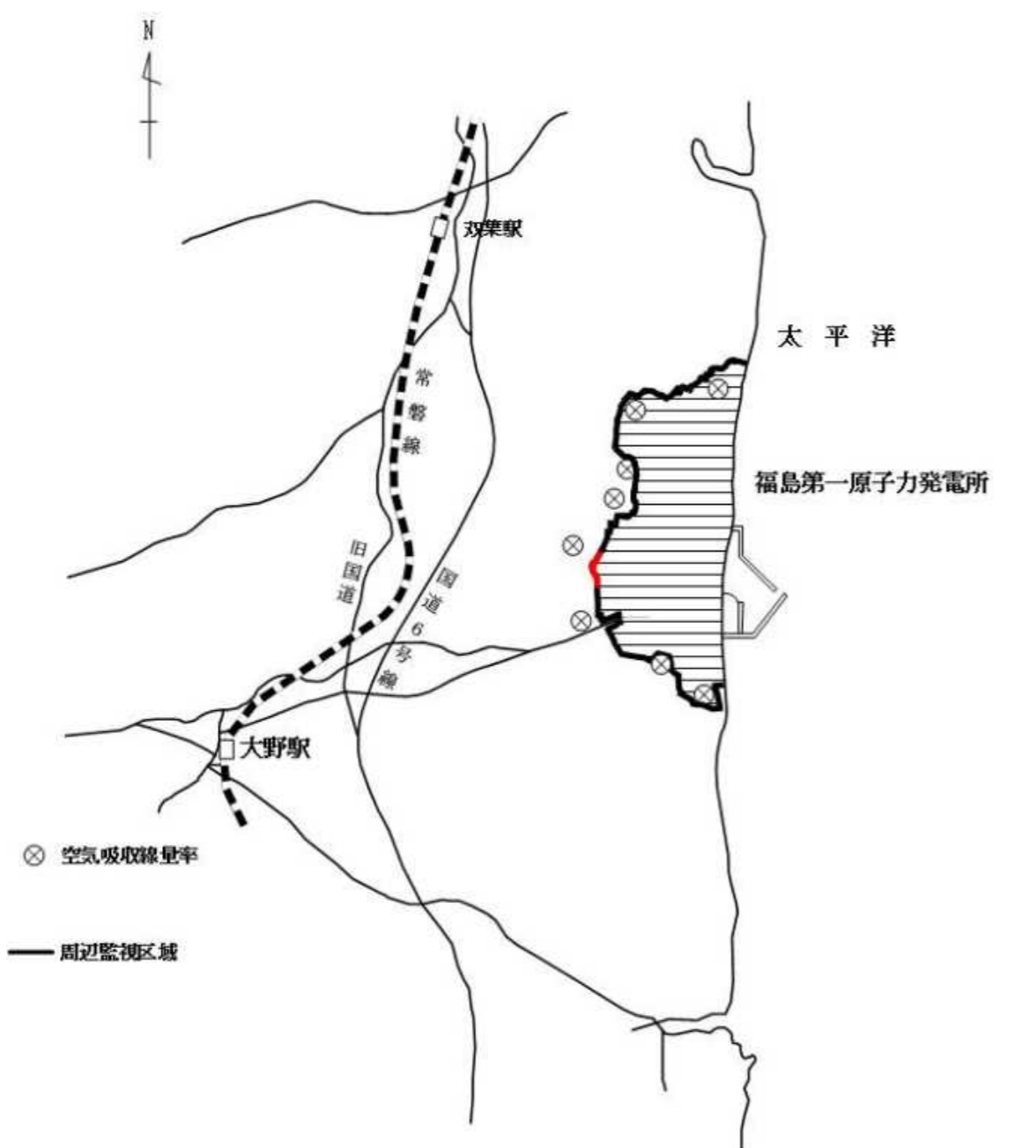
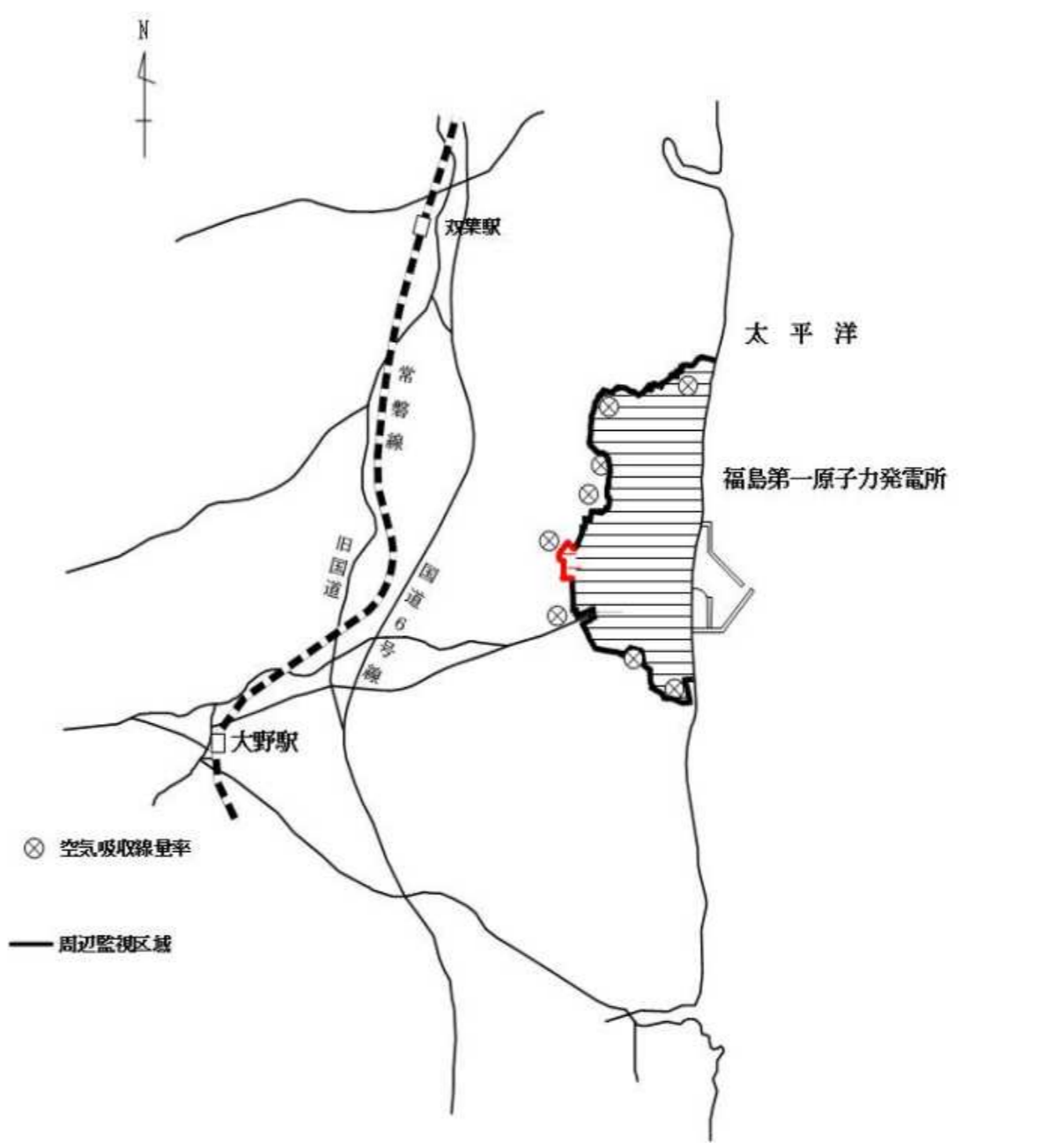
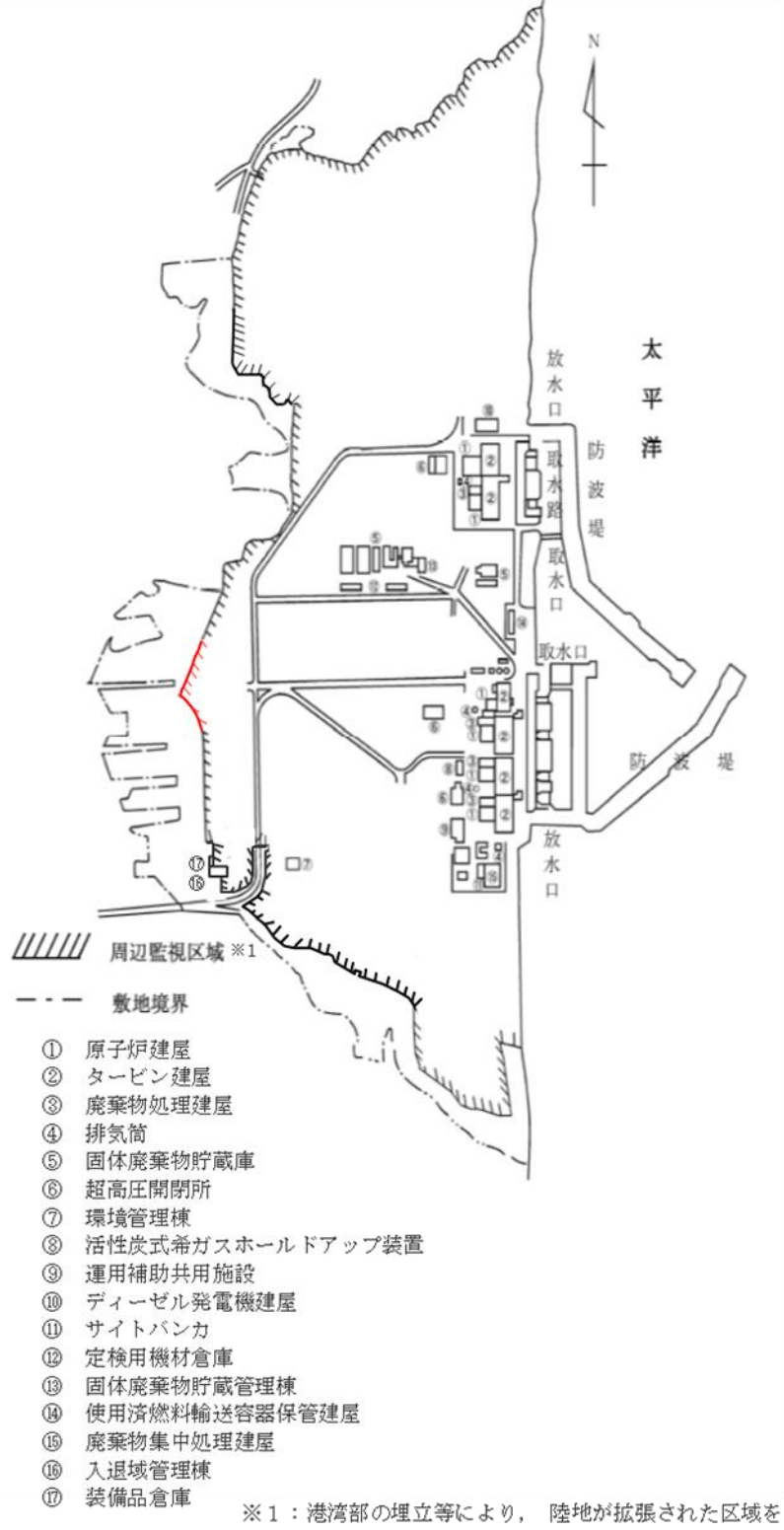
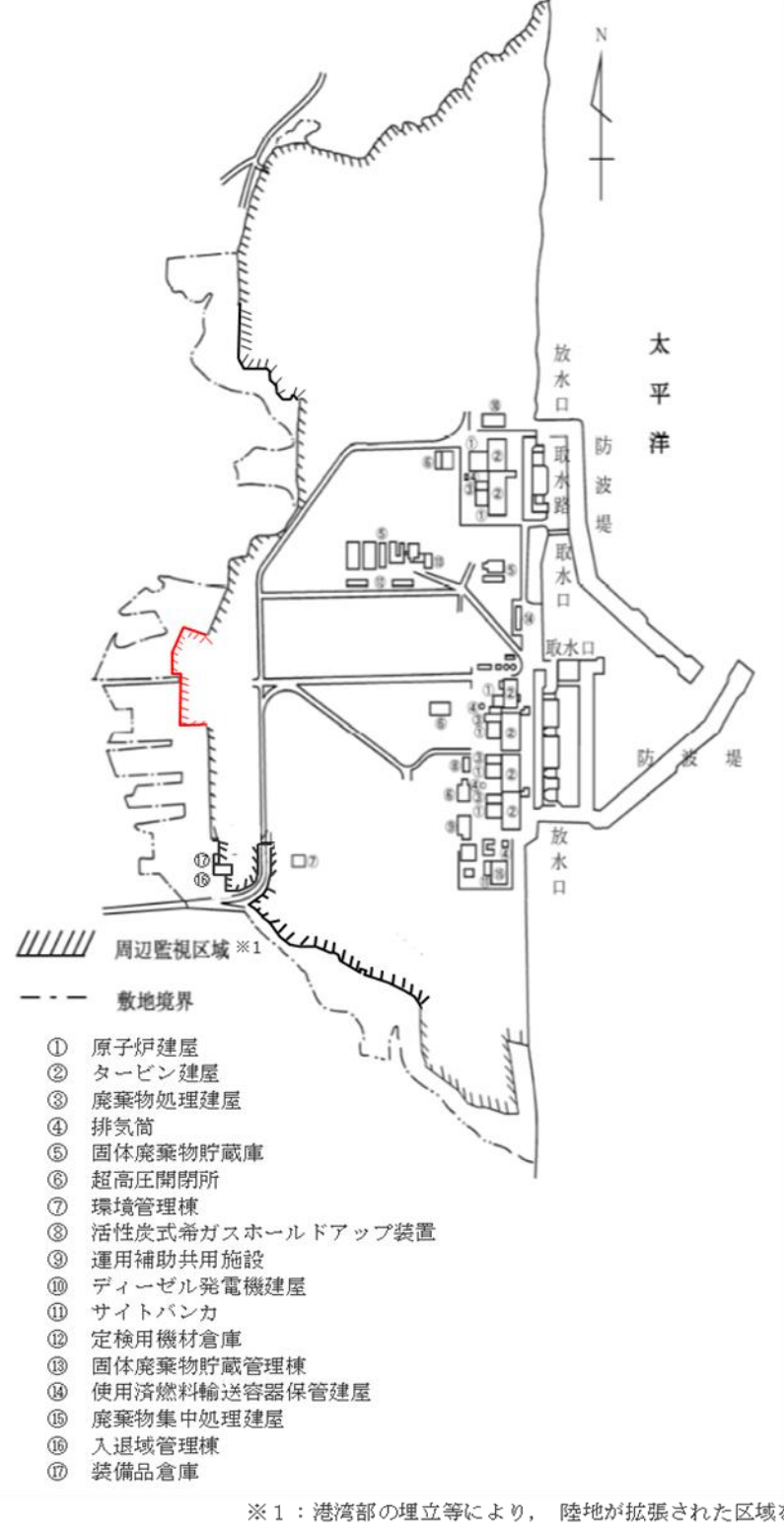


変更前	変更後	変更理由
<p>2.15 放射線管理関係設備等</p> <p>添付資料-2</p> <p>モニタリングポストの配置図</p>  <p>図2.15-8 モニタリングポスト配置図</p>	<p>2.15 放射線管理関係設備等</p> <p>添付資料-2</p> <p>モニタリングポストの配置図</p>  <p>図2.15-8 モニタリングポスト配置図</p>	<p>周辺監視区域境界変更に伴う変更</p>

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表 (第Ⅱ章 2.41 放射線物質分析・研究施設第1棟)

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>2.41 放射性物質分析・研究施設第1棟 2.41.1 基本設計</p> <p>(中略)</p> <p>2.41.1.3.5 構造強度 第1棟の建屋は「原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(日本建築学会 2013年8月)」に基づく。</p> <p>第1棟の設備(機器,配管等)は「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME S NC-1-2005(2007年追補版含む。)(日本機械学会 2007年9月)」(以下「設計・建設規格」という。)に基づくが,これに該当しない設備(機器,配管等)については日本工業規格及び米国機械学会(ASME)規格に適合した信頼性を有する材料・施工方法等に基づく。</p> <p>(中略)</p> <p>2.41.1.7 構造強度及び耐震性 2.41.1.7.1 強度評価の基本方針 第1棟の建屋の構造強度は「原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(日本建築学会 2013年8月)」に基づく。</p> <p>第1棟を構成する設備(機器,配管等)のうち,「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」において,クラス3に位置付けられる機器,配管については,設計・建設規格に基づき設計・製作・検査を行う。クラス3に該当しない機器,配管等については日本工業規格及び米国機械学会(ASME)規格に適合した信頼性を有する材料・施工方法等に基づく。</p>	<p>2.41 放射性物質分析・研究施設第1棟 2.41.1 基本設計</p> <p>(中略)</p> <p>2.41.1.3.5 構造強度 第1棟の建屋は「原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(日本建築学会 2013年8月)」に基づく。</p> <p>第1棟の設備(機器,配管等)は「発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME S NC-1-2005(2007年追補版含む。)(日本機械学会 2007年9月)」(以下「設計・建設規格」という。)に基づくが,これに該当しない設備(機器,配管等)については日本産業規格及び米国機械学会(ASME)規格に適合した信頼性を有する材料・施工方法等に基づく。</p> <p>(中略)</p> <p>2.41.1.7 構造強度及び耐震性 2.41.1.7.1 強度評価の基本方針 第1棟の建屋の構造強度は「原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(日本建築学会 2013年8月)」に基づく。</p> <p>第1棟を構成する設備(機器,配管等)のうち,「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」において,クラス3に位置付けられる機器,配管については,設計・建設規格に基づき設計・製作・検査を行う。クラス3に該当しない機器,配管等については日本産業規格及び米国機械学会(ASME)規格に適合した信頼性を有する材料・施工方法等に基づく。</p>	<p>記載の適正化</p> <p>記載の適正化</p>

変更前	変更後	変更理由
<p>(周辺監視区域) 第57条 周辺監視区域は、図57に示す区域とする。 2. 防護管理GMは、第1項の周辺監視区域境界に、柵を設ける又は標識を掲げる等により、業務上立入る者以外の立入りを制限する。ただし、当該区域に立入るおそれのないことが明らかな場合は、この限りでない。</p> <p>図57</p>  <p>① 原子炉建屋 ② タービン建屋 ③ 廃棄物処理建屋 ④ 排気筒 ⑤ 固体廃棄物貯蔵庫 ⑥ 超高压開閉所 ⑦ 環境管理棟 ⑧ 活性炭式希ガスホールドアップ装置 ⑨ 運用補助共用施設 ⑩ ディーゼル発電機建屋 ⑪ サイトバンカ ⑫ 定検用機材倉庫 ⑬ 固体廃棄物貯蔵管理棟 ⑭ 使用済燃料輸送容器保管建屋 ⑮ 廃棄物集中処理建屋 ⑯ 入退域管理棟 ⑰ 装備品倉庫</p> <p>※1：港湾部の埋立等により、陸地が拡張された区域を含む。</p>	<p>(周辺監視区域) 第57条 周辺監視区域は、図57に示す区域とする。 2. 防護管理GMは、第1項の周辺監視区域境界に、柵を設ける又は標識を掲げる等により、業務上立入る者以外の立入りを制限する。ただし、当該区域に立入るおそれのないことが明らかな場合は、この限りでない。</p> <p>図57</p>  <p>① 原子炉建屋 ② タービン建屋 ③ 廃棄物処理建屋 ④ 排気筒 ⑤ 固体廃棄物貯蔵庫 ⑥ 超高压開閉所 ⑦ 環境管理棟 ⑧ 活性炭式希ガスホールドアップ装置 ⑨ 運用補助共用施設 ⑩ ディーゼル発電機建屋 ⑪ サイトバンカ ⑫ 定検用機材倉庫 ⑬ 固体廃棄物貯蔵管理棟 ⑭ 使用済燃料輸送容器保管建屋 ⑮ 廃棄物集中処理建屋 ⑯ 入退域管理棟 ⑰ 装備品倉庫</p> <p>※1：港湾部の埋立等により、陸地が拡張された区域を含む。</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第1編）

変更前	変更後	変更理由																																																																						
<p>(外部放射線に係る線量当量率等の測定) 第60条 各プログラム部長及び各GMは、表60-1及び表60-2（第48条第1項（2）の区域内にある汚染のおそれのない管理対象区域内に限る）に定める管理対象区域内における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。ただし、人の立ち入れない措置を講じた管理対象区域については、この限りでない。</p> <p>2. 放出・環境モニタリングGMは、表60-1に定める周辺監視区域境界付近（測定場所は図60に定める。）における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。</p> <p>3. 放射線防護GMは、第1項の測定により、放出・環境モニタリングGMは、第2項の測定により、異常が認められた場合は、直ちにその原因を調査し、必要な措置を講じる。</p> <p>4. 各プログラム部長及び各GMは、第1項に定める測定結果を放射線防護GMに連絡する。放射線防護GMは、測定結果を記入したサーベイマップを作成する。</p> <p>表60-1</p> <table border="1" data-bbox="92 688 1151 1228"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1. 管理対象区域内 (管理区域内を含む) ※1</td> <td rowspan="2">外部放射線に係る線量当量率</td> <td>各プログラム部長及び各GM</td> <td>放射線レベルに応じて</td> </tr> <tr> <td>放射線防護GM※2</td> <td>毎日運転中に1回</td> </tr> <tr> <td>外部放射線に係る線量当量</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2. 周辺監視区域境界付近</td> <td>空気吸収線量</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> <tr> <td>空気吸収線量率※3</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>空気中の粒子状放射性物質濃度</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：人の立入頻度等を考慮して、被ばく管理上重要な項目について測定                  ※2：使用済燃料共用プールのエリアモニタ，使用済燃料乾式キャスク仮保管設備のエリアモニタ，3号炉原子炉建屋5階のエリアモニタ及び4号炉原子炉建屋5階のエリアモニタにおいて測定する項目                  ※3：モニタリングポストにおいて測定する項目</p> <p>表60-2</p> <table border="1" data-bbox="92 1465 1151 1650"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">汚染のおそれのない管理対象区域内</td> <td>表面汚染密度</td> <td rowspan="2">放射線防護GM</td> <td rowspan="2">毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> </tr> </tbody> </table>	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	1. 管理対象区域内 (管理区域内を含む) ※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて	放射線防護GM※2	毎日運転中に1回	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回	2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	空気吸収線量率※3	放出・環境モニタリングGM	常時	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)	空気中の放射性物質濃度	<p>(外部放射線に係る線量当量率等の測定) 第60条 各プログラム部長及び各GMは、表60-1及び表60-2（第48条第1項（2）の区域内にある汚染のおそれのない管理対象区域内に限る）に定める管理対象区域内における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。ただし、人の立ち入れない措置を講じた管理対象区域については、この限りでない。</p> <p>2. 放出・環境モニタリングGMは、表60-1に定める周辺監視区域境界付近（測定場所は図60に定める。）における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。</p> <p>3. 放射線防護GMは、第1項の測定により、放出・環境モニタリングGMは、第2項の測定により、異常が認められた場合は、直ちにその原因を調査し、必要な措置を講じる。</p> <p>4. 各プログラム部長及び各GMは、第1項に定める測定結果を放射線防護GMに連絡する。放射線防護GMは、測定結果を記入したサーベイマップを作成する。</p> <p>表60-1</p> <table border="1" data-bbox="1311 688 2371 1228"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1. 管理対象区域内 (管理区域内を含む) ※1</td> <td rowspan="2">外部放射線に係る線量当量率</td> <td>各プログラム部長及び各GM</td> <td>放射線レベルに応じて</td> </tr> <tr> <td>放射線防護GM※2</td> <td>毎日運転中に1回</td> </tr> <tr> <td>外部放射線に係る線量当量</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2. 周辺監視区域境界付近</td> <td>空気吸収線量</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> <tr> <td>空気吸収線量率※3</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>空気中の粒子状放射性物質濃度</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：人の立入頻度等を考慮して、被ばく管理上重要な項目について測定                  ※2：使用済燃料共用プールのエリアモニタ，使用済燃料乾式キャスク仮保管設備のエリアモニタ，3号炉原子炉建屋5階のエリアモニタ及び4号炉原子炉建屋5階のエリアモニタにおいて測定する項目                  ※3：モニタリングポストにおいて測定する項目</p> <p>表60-2</p> <table border="1" data-bbox="1311 1465 2371 1650"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">汚染のおそれのない管理対象区域内</td> <td>表面汚染密度</td> <td rowspan="2">放射線防護GM</td> <td rowspan="2">毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> </tr> </tbody> </table>	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	1. 管理対象区域内 (管理区域内を含む) ※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて	放射線防護GM※2	毎日運転中に1回	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回	2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	空気吸収線量率※3	放出・環境モニタリングGM	常時	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)	空気中の放射性物質濃度	<p>変更なし</p>
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
1. 管理対象区域内 (管理区域内を含む) ※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて																																																																					
		放射線防護GM※2	毎日運転中に1回																																																																					
	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
	空気吸収線量率※3	放出・環境モニタリングGM	常時																																																																					
	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)																																																																					
	空気中の放射性物質濃度																																																																							
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
1. 管理対象区域内 (管理区域内を含む) ※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて																																																																					
		放射線防護GM※2	毎日運転中に1回																																																																					
	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
	空気吸収線量率※3	放出・環境モニタリングGM	常時																																																																					
	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)																																																																					
	空気中の放射性物質濃度																																																																							

変更前	変更後	変更理由
<p>図60</p> <p>図60は、福島第一原子力発電所周辺の放射線モニタリング計画を示しています。図には、常磐線、旧国道、国道6号線、大野駅、双葉駅、太平洋、福島第一原子力発電所が描かれています。また、空気吸収線量率（⊗）、空気吸収線量（○）、粒子状放射性物質濃度（◎）のモニタリングポイントが示されています。黒い線は周辺監視区域を示しています。</p>	<p>図60</p> <p>図60は、福島第一原子力発電所周辺の放射線モニタリング計画を示しています。図には、常磐線、旧国道、国道6号線、大野駅、双葉駅、太平洋、福島第一原子力発電所が描かれています。また、空気吸収線量率（⊗）、空気吸収線量（○）、粒子状放射性物質濃度（◎）のモニタリングポイントが示されています。黒い線は周辺監視区域を示しています。赤い「E」の記号は、放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更を示しています。</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>



変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>附則（令和3年2月2日 原規規発第2102022号） （施行期日） 第1条 この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p><u>附則（令和3年1月22日 原規規発第2101222号）</u> <u>（施行期日）</u> <u>第1条</u> <u>この規定は、令和3年2月1日から施行する。</u></p> <p>附則（令和2年9月29日 原規規発第2009291号） （施行期日） 第1条 2. 第61条については、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備における新設エリアモニタの運用を開始した時点から適用することとし、それまでの間は従前の例による。</p> <p>（省略）</p>	<p style="text-align: center;">附 則</p> <p><u>附則（</u> <u>（施行期日）</u> <u>第1条</u> <u>この規定は、原子力規制委員会の認可を受けた日から10日以内に施行する。</u></p> <p><u>2. 第57条の図57、第60条の図60、添付1（管理区域図）の全体図における周辺監視区域境界及び添付2（管理対象区域図）の全体図における周辺監視区域境界については、放射性物質分析・研究施設第1棟の設置に伴う周辺監視区域柵の設置工事が終了した時点から適用することとし、それまでの間は従前の例による。</u></p> <p><u>3. 添付1（管理区域図）の全体図における放射性物質分析・研究施設第1棟及び放射性物質分析・研究施設第1棟の管理区域図面並びに添付2（管理対象区域図）の全体図における放射性物質分析・研究施設第1棟及び放射性物質分析・研究施設第1棟の管理対象区域図面の変更は、それぞれの区域の区域区分の変更をもって適用することとし、それまでの間は従前の例による。</u></p> <p>附則（令和3年2月2日 原規規発第2102022号） （施行期日） 第1条 この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p>附則（令和2年9月29日 原規規発第2009291号） （施行期日） 第1条 2. 第61条については、使用済燃料乾式キャスク仮保管設備における新設エリアモニタの運用を開始した時点から適用することとし、それまでの間は従前の例による。</p> <p>（省略）</p>	

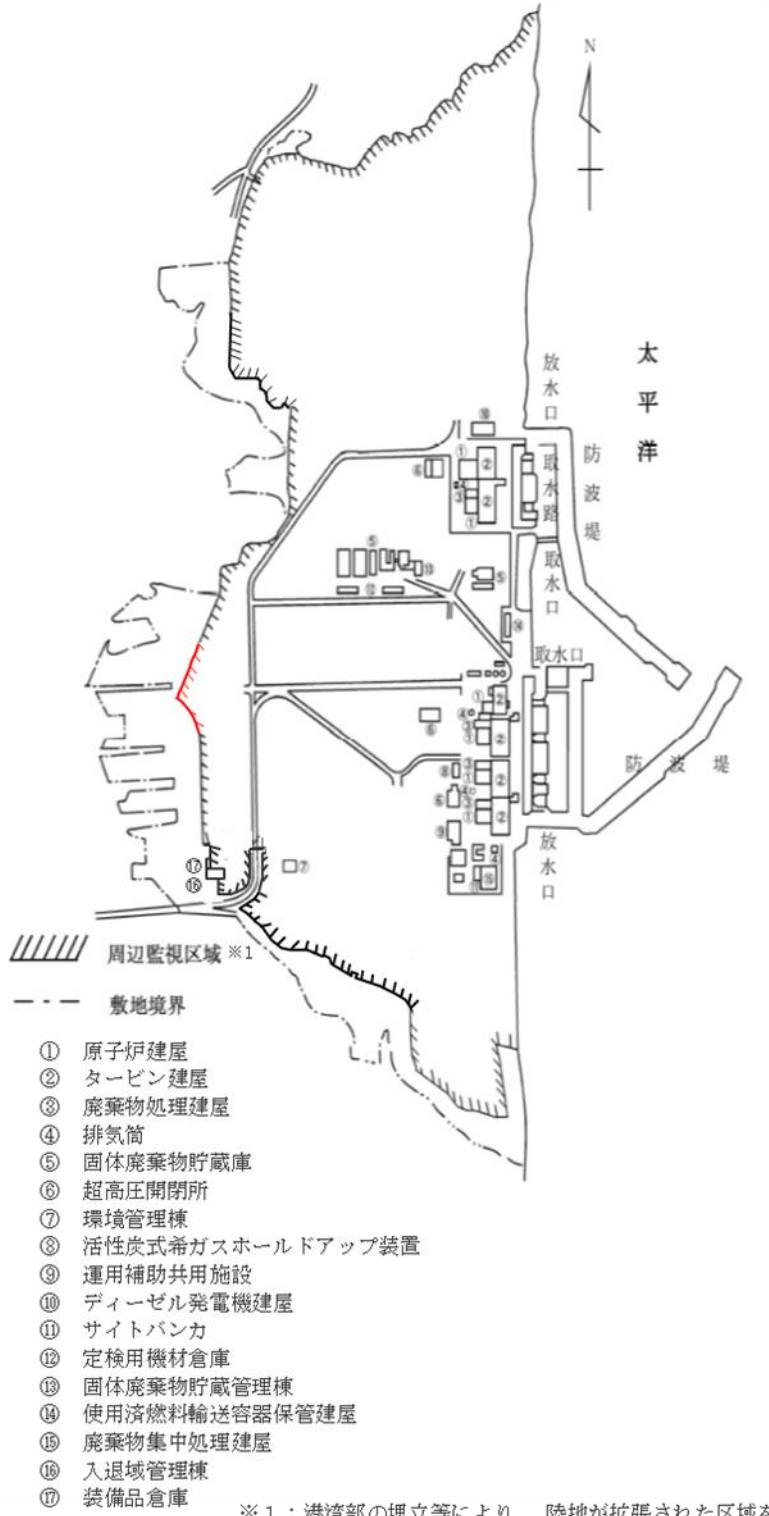
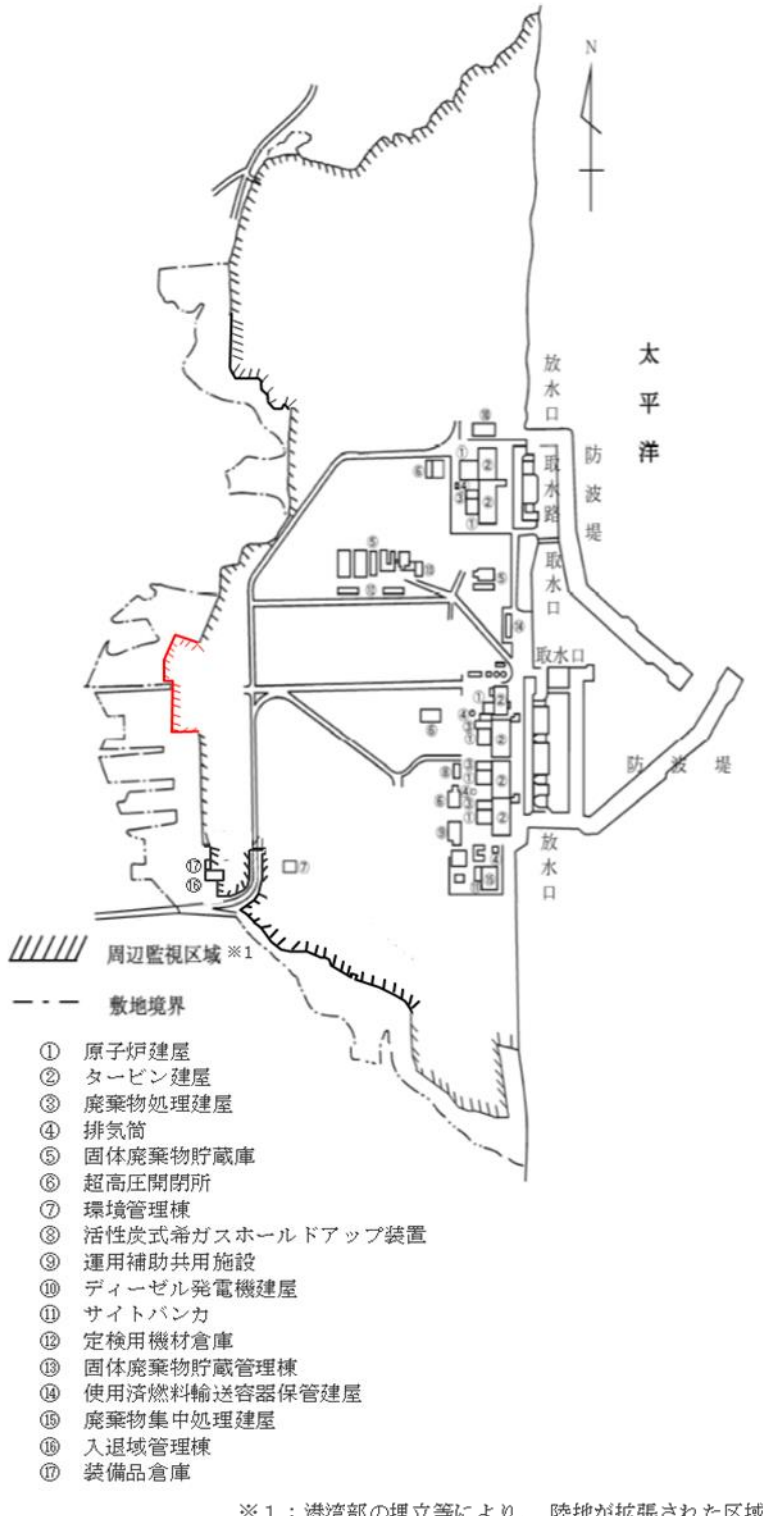
福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第1編）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>添付1 管理区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>添付1 管理区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第1編）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>添付2 管理対象区域図                      (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>添付2 管理対象区域図                      (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>



変更前	変更後	変更理由
<p>(周辺監視区域) 第98条 周辺監視区域は、図98に示す区域とする。 2. 防護管理GMは、第1項の周辺監視区域境界に、柵を設ける又は標識を掲げること等により、業務上立入る者以外の立入りを制限する。ただし、当該区域に立入るおそれのないことが明らかな場合は、この限りでない。</p> <p>図98</p>  <p>① 原子炉建屋 ② タービン建屋 ③ 廃棄物処理建屋 ④ 排気筒 ⑤ 固体廃棄物貯蔵庫 ⑥ 超高压開閉所 ⑦ 環境管理棟 ⑧ 活性炭式希ガスホールドアップ装置 ⑨ 運用補助共用施設 ⑩ ディーゼル発電機建屋 ⑪ サイトバンカ ⑫ 定検用機材倉庫 ⑬ 固体廃棄物貯蔵管理棟 ⑭ 使用済燃料輸送容器保管建屋 ⑮ 廃棄物集中処理建屋 ⑯ 入退域管理棟 ⑰ 装備品倉庫</p> <p>※1：港湾部の埋立等により、陸地が拡張された区域を含む。</p>	<p>(周辺監視区域) 第98条 周辺監視区域は、図98に示す区域とする。 2. 防護管理GMは、第1項の周辺監視区域境界に、柵を設ける又は標識を掲げること等により、業務上立入る者以外の立入りを制限する。ただし、当該区域に立入るおそれのないことが明らかな場合は、この限りでない。</p> <p>図98</p>  <p>① 原子炉建屋 ② タービン建屋 ③ 廃棄物処理建屋 ④ 排気筒 ⑤ 固体廃棄物貯蔵庫 ⑥ 超高压開閉所 ⑦ 環境管理棟 ⑧ 活性炭式希ガスホールドアップ装置 ⑨ 運用補助共用施設 ⑩ ディーゼル発電機建屋 ⑪ サイトバンカ ⑫ 定検用機材倉庫 ⑬ 固体廃棄物貯蔵管理棟 ⑭ 使用済燃料輸送容器保管建屋 ⑮ 廃棄物集中処理建屋 ⑯ 入退域管理棟 ⑰ 装備品倉庫</p> <p>※1：港湾部の埋立等により、陸地が拡張された区域を含む。</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第2編）

変更前	変更後	変更理由																																																																						
<p>(外部放射線に係る線量当量率等の測定) 第101条 各プログラム部長及び各GMは、表101-1及び表101-2（第93条の2第1項（2）の区域内にある汚染のおそれのない管理対象区域内に限る）に定める管理対象区域内における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。ただし、人の立ち入れない措置を講じた管理対象区域については、この限りでない。</p> <p>2. 放出・環境モニタリングGMは、表101-1に定める周辺監視区域境界付近（測定場所は図101に定める。）における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。</p> <p>3. 放射線防護GMは、第1項の測定により、放出・環境モニタリングGMは、第2項の測定により、異常が認められた場合は、直ちにその原因を調査し、必要な措置を講じる。</p> <p>4. 各プログラム部長及び各GMは、第1項に定める測定結果を放射線防護GMに連絡する。放射線防護GMは、測定結果を記入したサーベイマップを作成する。</p> <p>表101-1</p> <table border="1" data-bbox="94 688 1157 1228"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1. 管理対象区域内(管理区域内を含む)※1</td> <td rowspan="2">外部放射線に係る線量当量率</td> <td>各プログラム部長及び各GM</td> <td>放射線レベルに応じて</td> </tr> <tr> <td>放射線防護GM※2</td> <td>毎日運転中に1回※3</td> </tr> <tr> <td>外部放射線に係る線量当量</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2. 周辺監視区域境界付近</td> <td>空気吸収線量</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> <tr> <td>空気吸収線量率※4</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>空気中の粒子状放射性物質濃度</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：人の立入頻度等を考慮して、被ばく管理上重要な項目について測定                  ※2：5号炉及び6号炉のエリアモニタにおいて測定する項目                  ※3：当該エリアが滞留水により人の立ち入れない状況にあり、修理又は代替品の補充が速やかに実施できず、当該エリアの外部放射線に係る線量当量率が定められた頻度で測定できない場合は、他のエリアモニタの計測値で代替する。                  ※4：モニタリングポストにおいて測定する項目</p> <p>表101-2</p> <table border="1" data-bbox="94 1501 1157 1774"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">汚染のおそれのない管理対象区域内</td> <td>表面汚染密度</td> <td rowspan="2">放射線防護GM</td> <td rowspan="2">毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> </tr> </tbody> </table>	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	1. 管理対象区域内(管理区域内を含む)※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて	放射線防護GM※2	毎日運転中に1回※3	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回	2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	空気吸収線量率※4	放出・環境モニタリングGM	常時	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)	空気中の放射性物質濃度	<p>(外部放射線に係る線量当量率等の測定) 第101条 各プログラム部長及び各GMは、表101-1及び表101-2（第93条の2第1項（2）の区域内にある汚染のおそれのない管理対象区域内に限る）に定める管理対象区域内における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。ただし、人の立ち入れない措置を講じた管理対象区域については、この限りでない。</p> <p>2. 放出・環境モニタリングGMは、表101-1に定める周辺監視区域境界付近（測定場所は図101に定める。）における測定項目について、同表に定める頻度で測定する。</p> <p>3. 放射線防護GMは、第1項の測定により、放出・環境モニタリングGMは、第2項の測定により、異常が認められた場合は、直ちにその原因を調査し、必要な措置を講じる。</p> <p>4. 各プログラム部長及び各GMは、第1項に定める測定結果を放射線防護GMに連絡する。放射線防護GMは、測定結果を記入したサーベイマップを作成する。</p> <p>表101-1</p> <table border="1" data-bbox="1314 688 2377 1228"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">1. 管理対象区域内(管理区域内を含む)※1</td> <td rowspan="2">外部放射線に係る線量当量率</td> <td>各プログラム部長及び各GM</td> <td>放射線レベルに応じて</td> </tr> <tr> <td>放射線防護GM※2</td> <td>毎日運転中に1回※3</td> </tr> <tr> <td>外部放射線に係る線量当量</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> <td>放射線防護GM</td> <td>1週間に1回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2. 周辺監視区域境界付近</td> <td>空気吸収線量</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> <tr> <td>空気吸収線量率※4</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>空気中の粒子状放射性物質濃度</td> <td>放出・環境モニタリングGM</td> <td>3ヶ月に1回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：人の立入頻度等を考慮して、被ばく管理上重要な項目について測定                  ※2：5号炉及び6号炉のエリアモニタにおいて測定する項目                  ※3：当該エリアが滞留水により人の立ち入れない状況にあり、修理又は代替品の補充が速やかに実施できず、当該エリアの外部放射線に係る線量当量率が定められた頻度で測定できない場合は、他のエリアモニタの計測値で代替する。                  ※4：モニタリングポストにおいて測定する項目</p> <p>表101-2</p> <table border="1" data-bbox="1314 1501 2377 1774"> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>測定項目</th> <th>所管GM</th> <th>測定頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">汚染のおそれのない管理対象区域内</td> <td>表面汚染密度</td> <td rowspan="2">放射線防護GM</td> <td rowspan="2">毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)</td> </tr> <tr> <td>空気中の放射性物質濃度</td> </tr> </tbody> </table>	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	1. 管理対象区域内(管理区域内を含む)※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて	放射線防護GM※2	毎日運転中に1回※3	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回	2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	空気吸収線量率※4	放出・環境モニタリングGM	常時	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回	場所	測定項目	所管GM	測定頻度	汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)	空気中の放射性物質濃度	<p>変更なし</p>
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
1. 管理対象区域内(管理区域内を含む)※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて																																																																					
		放射線防護GM※2	毎日運転中に1回※3																																																																					
	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
	空気吸収線量率※4	放出・環境モニタリングGM	常時																																																																					
	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)																																																																					
	空気中の放射性物質濃度																																																																							
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
1. 管理対象区域内(管理区域内を含む)※1	外部放射線に係る線量当量率	各プログラム部長及び各GM	放射線レベルに応じて																																																																					
		放射線防護GM※2	毎日運転中に1回※3																																																																					
	外部放射線に係る線量当量	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
	空気中の放射性物質濃度	放射線防護GM	1週間に1回																																																																					
2. 周辺監視区域境界付近	空気吸収線量	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
	空気吸収線量率※4	放出・環境モニタリングGM	常時																																																																					
	空気中の粒子状放射性物質濃度	放出・環境モニタリングGM	3ヶ月に1回																																																																					
場所	測定項目	所管GM	測定頻度																																																																					
汚染のおそれのない管理対象区域内	表面汚染密度	放射線防護GM	毎日1回 (汚染のおそれのない管理対象区域が設定されている期間)																																																																					
	空気中の放射性物質濃度																																																																							

変更前	変更後	変更理由
<p>図101</p> <p>図101は、福島第一原子力発電所周辺の監視区域を示す地図である。変更前の状態を示している。地図には、常磐線、旧国道、国道6号線、大野駅、双葉駅、太平洋、福島第一原子力発電所が描かれている。また、空気吸収線量率、空気吸収線量、粒子状放射性物質濃度の測定地点も示されている。赤い線は周辺監視区域を示している。</p>	<p>図101</p> <p>図101は、福島第一原子力発電所周辺の監視区域を示す地図である。変更後の状態を示している。変更前の地図とほぼ同じだが、福島第一原子力発電所の東側に新たな監視地点が追加されている。</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>

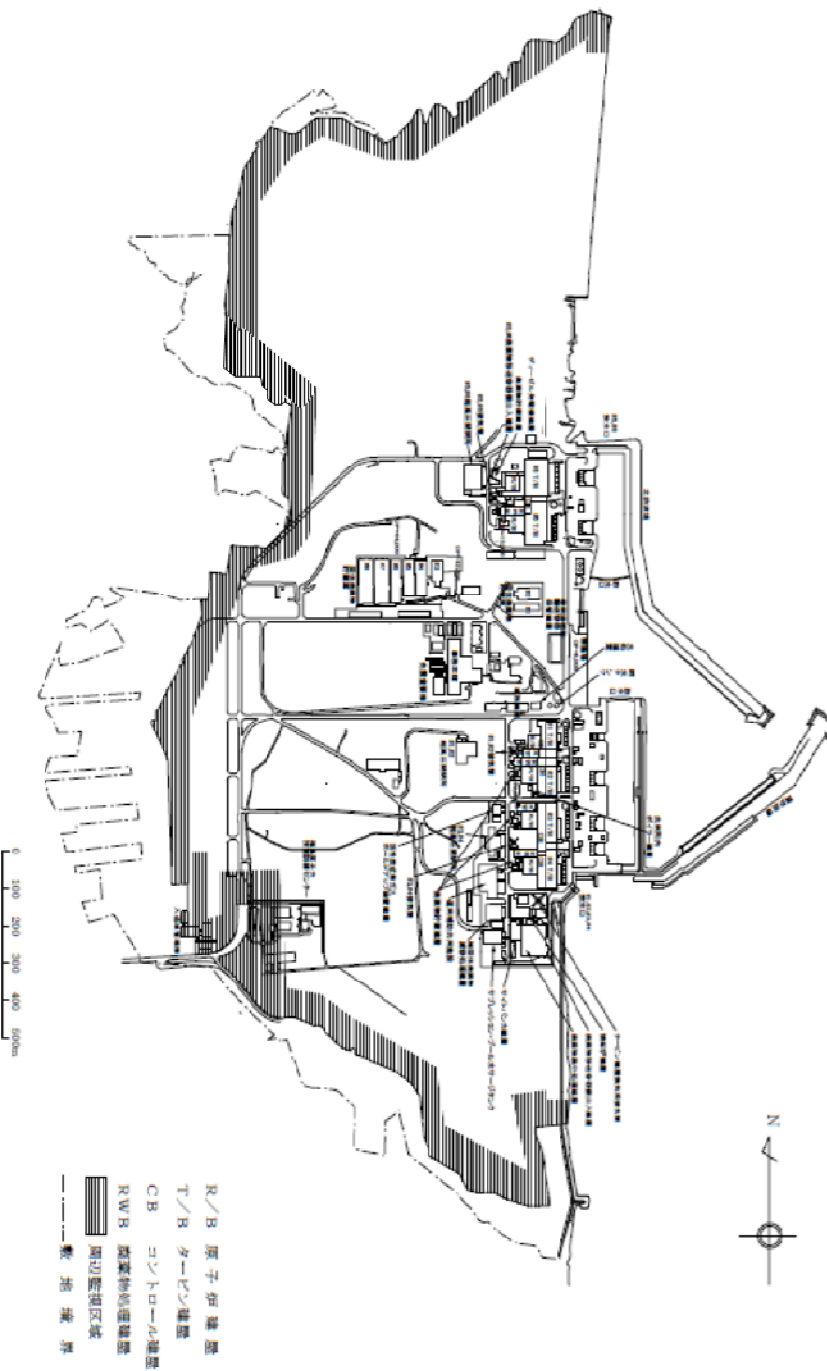
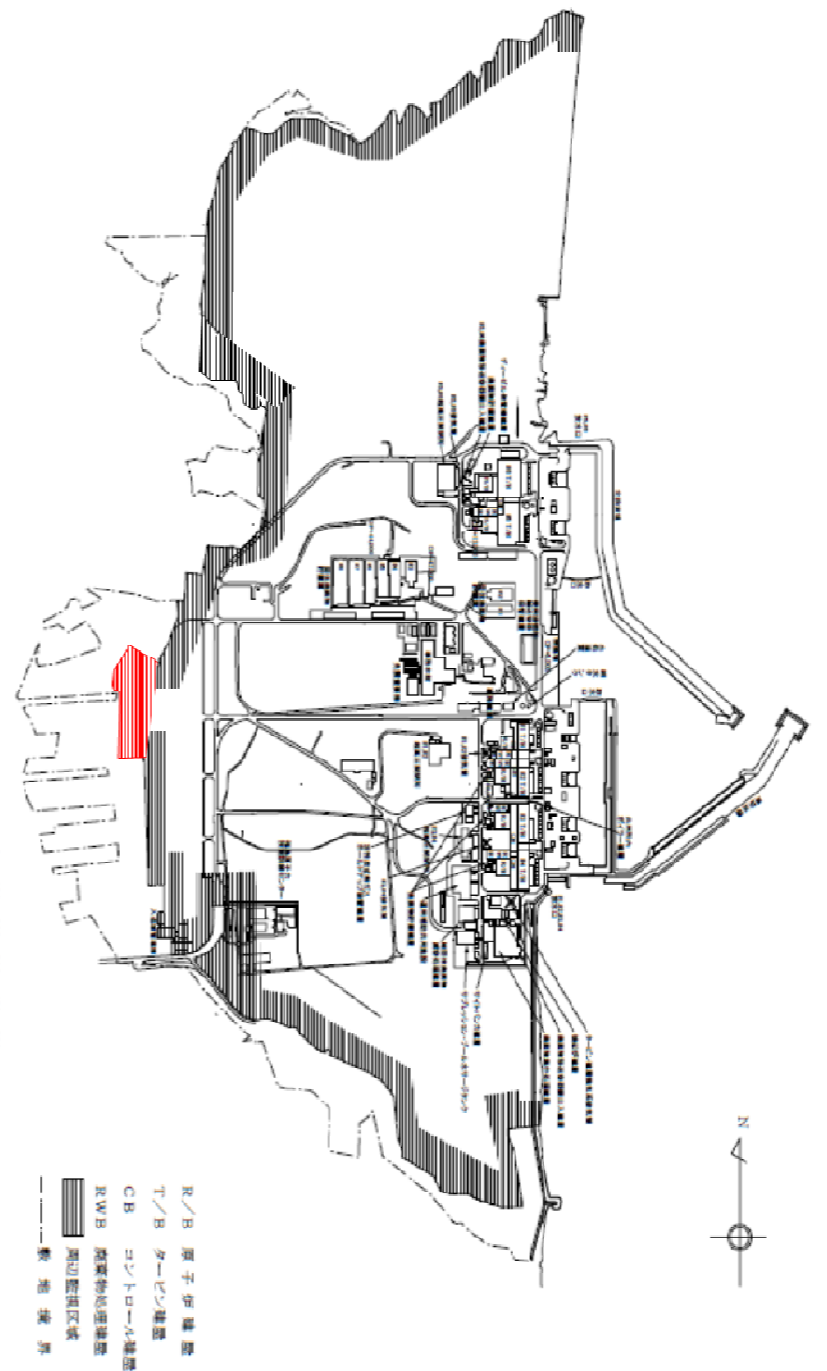
変更前	変更後	変更理由
<p style="text-align: center;">附 則</p> <p>附則（令和3年2月2日 原規規発第2102022号） （施行期日） 第1条 この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p>附則（令和2年8月3日 原規規発第2008037号） （施行期日） 第1条 2. 添付1（管理区域図）の全体図における免震重要棟及び入退域管理棟、添付2（管理対象区域図）の全体図における免震重要棟及び入退域管理棟並びに免震重要棟及び入退域管理棟の管理対象区域図面の変更は、それぞれの区域の区域区分の変更をもって適用することとし、それまでの間は従前の例による。</p> <p>（省略）</p>	<p style="text-align: center;">附 則</p> <p><u>附則（ （施行期日） 第1条 この規定は、原子力規制委員会の認可を受けた日から10日以内に施行する。 2. 第98条の図98、第101条の図101、添付1（管理区域図）の全体図における周辺監視区域境界及び添付2（管理対象区域図）の全体図における周辺監視区域境界については、放射性物質分析・研究施設第1棟の設置に伴う周辺監視区域柵の設置工事が終了した時点から適用することとし、それまでの間は従前の例による。 3. 添付1（管理区域図）の全体図における放射性物質分析・研究施設第1棟及び放射性物質分析・研究施設第1棟の管理区域図面並びに添付2（管理対象区域図）の全体図における放射性物質分析・研究施設第1棟及び放射性物質分析・研究施設第1棟の管理対象区域図面の変更は、それぞれの区域の区域区分の変更をもって適用することとし、それまでの間は従前の例による。</u></p> <p>附則（令和3年2月2日 原規規発第2102022号） （施行期日） 第1条 この規定は、令和3年4月1日から施行する。</p> <p>附則（令和2年8月3日 原規規発第2008037号） （施行期日） 第1条 2. 添付1（管理区域図）の全体図における免震重要棟及び入退域管理棟、添付2（管理対象区域図）の全体図における免震重要棟及び入退域管理棟並びに免震重要棟及び入退域管理棟の管理対象区域図面の変更は、それぞれの区域の区域区分の変更をもって適用することとし、それまでの間は従前の例による。</p> <p>（省略）</p>	

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第2編）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>添付1 管理区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>添付1 管理区域図  (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>

福島第一原子力発電所 特定原子力施設に係る実施計画変更比較表（第Ⅲ章 第2編）

変 更 前	変 更 後	変 更 理 由
<p>添付2 管理対象区域図                      (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>添付2 管理対象区域図                      (核物質防護上の観点から公開しないこととしております)</p>	<p>放射性物質分析・研究施設第1棟設置に伴う変更</p>

変更前	変更後	変更理由
<p>3 放射線管理に係る補足説明</p> <p>(中略)</p> <p>3.1.2 放射線管理</p>  <p>図3.1-1 周辺監視区域図</p>	<p>3 放射線管理に係る補足説明</p> <p>(中略)</p> <p>3.1.2 放射線管理</p>  <p>図3.1-1 周辺監視区域図</p>	<p>周辺監視区域境界変更に伴う変更</p>